



29 年度
産学官金連携

「学生の県内就職」支援

 奈良信用金庫 ×  奈良県立大学 × 近畿財務局
Nara Prefectural University

「地域のために何かできることはないやろか？」を合言葉に、若手職員を中心に発足した Team ちほめん。Team ちほめんとは近畿財務局の若手有志職員が、地域の課題解決のため何かお手伝いできないか、近畿 2 府 4 県各地にお邪魔し、様々な企画を提案し、スタッフとして実行させていただくおせっかいな団体です（ちほめんとは地方創生企画推進メンバーという長い名前の愛称です）。近畿財務局では初の取組になる“産学官金連携企画”の「学生の就職支援」についてご紹介させていただきます。

1. 開催までの経緯

今回の企画のきっかけは、昨年 10 月に実施した奈良信用金庫への地方創生に関するヒアリングでした。奈良信用金庫、奈良県立大学との連携が決まったうえで、大学からの思わぬ依頼でスタートした「就職支援」でしたが、地域の要望・ニーズに応えるべく、担当者手探りの中、奈良県内の就業率向上の一助となるような企画を検討し提案しました。

【地域の課題】

- ① 県内大学卒業者の県内での就職割合は低く、若者が地元に着しないのが、奈良県全体の課題。当大学も県内就職率は 1 割にとどまっている。
- ② 奈良県の女性の就業率が全国ワースト 1。当大学の学生の 7 割は女性であるため、学生に対し、女性が働ける環境のアピールも重要と考えている。

【企画のポイント】

大学生に対し、入学後の早い段階から

- ① 「地元企業を知る機会」を与える
 - ・奈良県の特産品等を扱う企業や、地元で元気のある企業の方を講師に招き、奈良県内の企業を知ってもらう。
- ② 「奈良で働く魅力、女性が働く魅力を感じる機会」を与える
 - ・地元で活躍されている女性経営者の方を講師に招き、働く女性の生の声を聞いてもらう。
 - ・その他、当局が実施するマネー講座等で、今後のライフプランをイメージしてもらう。

県内就業率・女性就業率 UP



～ 企業・講師の選定 ～

企画が決まれば、次に企業・講師選定。「学生はどうしても大企業に目が行きがち。奈良にもたくさん魅力ある中小企業があり、それをもっと知ってほしい」という学長の想いと、女子就業率UPという課題を踏まえ、学生にとっても興味深い魅力ある企業・人物を中心に、女性活用を積極的に行っている会社や、家庭と仕事を両立しながら生き生き働いている女性などの企業、講師選定を進めました。

我々担当者は、奈良出身でもなく、企業選定においては、新鮮な目で奈良の素敵な企業を発掘していましたが、先方の都合もある話。お目当ての企業が必ず依頼を受けていただけるとは限らず、敗れる事も多々……。そんな心が折れそうな時は、奈良財務事務所から繋がりのある企業へアプローチしたり、奈良財務事務所勤務経験者に過去のヒアリング先の中からお薦め企業を聞いたり、今回の企画も、財務局のネットワークを活かし、皆さんの協力のうえ、ようやく形になったものです。

おかげさまで、どの企業の方も企画の意図を理解し、学生さん達のためなら！と引き受けてくださった素敵な方々ばかりです。当日の講義を一番楽しみにしていたのは、担当者かもしれません。

【スケジュール】

	実施日時	講義	講師
第1回	5月9日(火) 16:30~18:00	企業紹介、 講師との意見交換等	奈良信用金庫 
第2回	5月16日(火) 16:30~18:00		株式会社 呉竹 
第3回	5月23日(火) 16:30~18:00		梅乃宿酒造 株式会社 
第4回	5月30日(火) 16:30~18:00		スムージー専門店 DRINK DRANK 
第5回	6月13日(火) 16:30~18:00	女子向けマネー講座 「ライフプランとおかねの話」	近畿財務局職員
第6回	7月11日(火) 16:30~18:00	就職活動のための 企業データ分析・整理方法	近畿財務局職員（公認会計士取得者）

2. 当日の様様

5月9日、当企画の初日、まず始めに奈良財務事務所の中嶋所長から、奈良県の就業にかかる現状、当企画への想いなどの話がありました。



～ 第1回 奈良信用金庫 ～

企業紹介のトップバッターは、連携企画の一員でもある奈良信用金庫。当日は、講師として人事課の担当者に加え、昨年奈良県立大学を卒業した金庫職員の方にもお越しいただき、金融機関の業務、営業店ででの実際の仕事について、詳しく丁寧に説明いただきました。（転勤がなく家族と離れ離れにならないよ!!との熱いアピールも）日頃から地域活動に興味のある地域創造学部の学生も多く、地域に密着した奈良信用金庫の業務には興味津々でした。

また後半は、学生からも意見が出やすいように、講師とテーブルを囲み、ざっくばらんな意見交換、質疑応答を行いました。当局職員も参加。学生からは、「残業はあるの?」「休日は何をしているの?」といった業務以外の質問も出て楽しい時間となりました。また学生への逆質問で、「将来働きたいか?」と聞いてみたところ、「結婚して子供を育てながら働く事は大変そう。働き続けることは想像で

きない」という学生が多く正直びっくり。もちろん、そんな事ないよー！大丈夫！と自らの経験談を働くママとして話しました。

【講義内容】

- 信用金庫の業務（銀行との違い）
- 信用金庫の VISION
 - ・豊かな国民生活の実現
 - ・中小企業の健全な発展
 - ・地域繁栄への奉仕
- 奈良信用金庫の想い～経営理念～
 - ・お客さま本位の経営
 - ・地域金融機関としての経営
 - ・健全経営
 - ・人材育成（研修制度）
 - ・職場風土の醸成（手当、休暇制度）
- CSR への取組
（なら観光シンポジウム、春日山原始林活動等）
- 営業店での日常業務について



講師：相田ひとみ 様



講師：平山室長

～ 第2回 株式会社 呉竹 ～

第2回目は、奈良財務事務所財務課の出垣調査官から推薦のあった、奈良市南京終に本社がある 株式会社 呉竹。明治 35 年創業の伝統産業「奈良墨」を製造する会社でありながら、現在は筆ペンやスクラップブックなど女性をターゲットにした商品が多いため、女性の視点に立った発想が必要だと、積極的な女性活用を行っている会社です。

その中で講師は、人事担当として、労務課題解決をはじめ、従業員のよろず相談窓口担当、女性活躍推進などでも力を発揮しているという素敵な女性の方にお越しいただきました。前半は、企業の様々な取組、現状をお話いただき、学生は、『働く＝残業』のイメージが強かったようで、業務効率化へ積極的に取組む企業の姿勢に感心させられました。また後半の仕事選びと働き方においては、働くにあたっての考え方をお話いただき、学生だけでなく私達にも突き刺さるものが多く改めて考えさせられる時間となりました。



講師：大島沙織 様

【講義内容】

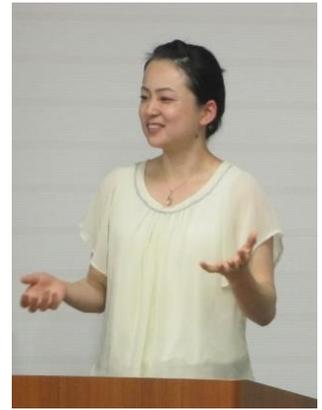
- 企業紹介
- 会社の取組み（育児支援、業務効率化、余暇時間の確保、ストレス管理）
- 業務効率化の意義
- 仕事選びと働き方
 - ・自分の価値を自分で決めない→知らない「自分」もいる
 - ・コミュニケーションこそ仕事→相手から信頼を得るチャンス。
 - ・時間外労働は、そもそも無い。→今できることを今やる。明日はない。
 - ・素直でいること→自分の固執ではなく、その仕事が有益か。
 - ・権利の前に義務を果たす



～ 第3回 梅乃宿酒造株式会社 ～

第3回目は、奈良財務事務所に勤務経験のある小畑調査官からの紹介で葛城市にある梅乃宿酒造株式会社の5代目女性社長にお越しいただきました。日本酒の消費量が下がり続けるなか、日本酒の魅力を若者や女性に伝えるべく、大学で講義を開いたり、大阪のクラブに営業へ行ったりと、様々なことに挑戦する、パワフルで素敵な女性経営者（二児のママ）です。

会社は「伝統と革新」を企業理念に持つ会社です。16年前、「酒蔵が梅酒を造るというのは、日本酒の格を落とすものだ」という声を受けながらも、美味しいものはお客さまに喜んでもらえるという信念に造り続けた「あごし梅酒」が大ヒット。現在では世界の和食ブームを背景に輸出も伸ばしています。社員の平均年齢は30代前半。管理職や酒造を担う蔵人にも女性が在籍し、社長をはじめ女性が活躍する活気ある会社です。そんな企業、業界について、また社長自身についても苦労話など引き込まれるような話をたくさんしてくださいました。話が面白く、学生からは話し方のコツの質問が出たり、「メモを取らずに聞いておかないともったいないくらい面白かった」との感想があったぐらいです。



講師：吉田佳代 様

【講義内容】

- 梅乃宿酒造について～企業・業界について～
 - ・今までのこと（下請けから自社ブランドへ）
 - ・これからのこと「新しい酒文化を創造する蔵」
 - ・現在の取組
- 私について～仕事と個人～
 - ・経歴（社長就任の決意まで）
 - ・『決める』ということ
 - ・プライベート
- 自分を活かすには
 - ・他人と過去は変えられない、でも自分と未来は変えられる

デバ地下の試飲でもいい！
日本酒は本当に美味しい
（高級な）ものをぜひ一度
飲んでみてください！！



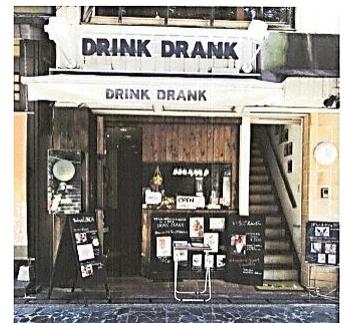
～ 第4回 DRINK DRANK ～

企業紹介ラストの講師は、女性起業家の方でした。近鉄奈良駅からすぐ近くにあるスムージー専門店を運営される方で、商品開発、人材育成、書籍・エッセイの執筆、講座開催など他方面で活躍されています。

この方との出会いは、まさにスムージー専門店。この企画が始まってから担当として奈良で活躍されている女性について調べていくなかで、様々な場面で目にする方でした。過去に働く女性を支援する活動やセミナー、講座の講師もされており、活動内容からもきっと素敵なキラリと輝く女性。でも財務局との繋がりなし。ハードルが高そう…。でも諦めず、**県庁での打合せ帰りにアポなしでお店を訪問。**まずは普通にスムージーを美味しくいただき、どうする？



声かける？きっとあの方に間違いない（手持ち資料と確認）と怪しさ満載の行動。「すみません！！ちょっといいですか。」と声をかけました。もちろん、相手はびっくり怖がられていました。そして財務局とはとの説明に始まり、今回の企画について熱く語ったうえで講師依頼。



するとまさかの即答、OK をいただきました。でも本当は、最近、多方面からの講師依頼を断っているとの事。

ただ自分自身が大学生時代に受けた刺激や経験が今の自分に繋がっているとので、学生のためなら！と引き受けていただいたようです。（まずは動いてみるものです）



講師：平野奈津 様

そんなこんなで講師に来てくださった平野さんは、本当にキラキラした女



性でした。学生が生き生きした人生を送れることを期待してもらえるように、自分の経験から学んだこと、今のうちに知っておくといいいこと、好転する考え方などリアルな話をしてくださいました。そして「和気あいあいと学生と話したい」との講師の希望もあり、後半は学生とディスカッション形式をとりました。将来の夢を語ってくれる学生もいたり、夢に向かって今やるべきことを相談したり、講師と偶然実家が近くて、

人を紹介してもらおう約束をしたり・・・とこちらも楽しい時間となりました。

【講義内容】

- スムージー専門店 DRINK DRANK の紹介
- DRINK DRANK のこだわり
 - ・仕入れは奈良県産の季節の果物を農家から直接
- DRINK DRANK 設立へのストーリー
 - ・学生時代～会社員時代～スムージーとの出会い
- DRINK DRANK 設立後から現在 ～18年間、いろいろな過程を経て…
 - ・子育てとの両立の難しさ→働き方をチェンジ
 - ・奈良の地で、奈良の大地の恩恵を受けながら、「スムージーが好き」という軸を大切に、仕事と育児とを楽しく両立させながら夢実現に向かえるように
- DRINK DRANK のこれから
 - ・夢を持つことの大切さ



【講義を受けての学生からの感想】

- ◇ 地域密着の働き方にすごく魅力を感じた。
- ◇ 授業では教えてもらえない内容ばかりで勉強になった。
- ◇ 普段は聞く事ができないような事も質問できて良かった。
- ◇ 実際働いている県立大出身の方の話が聞けてよかった。
- ◇ 女性目線での話がとても参考になった。
- ◇ 会社の制度や現在の社会の状況など聞けてとても勉強になった。
- ◇ 仕事選びや働き方について、経験に基づいた話が聞けて良かった。
- ◇ 今まで持っていた会社のイメージ（残業、制度…）とかけはなれていたことも多かった。
- ◇ 経験談を聞いて、様々なことにチャレンジしようと思うきっかけになった。
- ◇ 今後やりたい事も見つかってよかった。
- ◇ 父親以外、企業で働いている方との交流はなかったので、雰囲気を感じられ良い経験になった。



～ 第5回 女子向けマネー講座「ライフプランとおかねの話」 ～

第5回目は、当局の中留上席でした。中留上席は、金融リテラシーの普及のため、小学生向けおこづかい講座から高齢者向け金融トラブル講座の講師を務めていますが、今回は大学生向けに「家計管理」と「生活設計」の2分野の金融リテラシーに的を絞ったオリジナル資料で、ワーク中心にした楽しい講義を実施。家計管理アドバイザーとしてある依頼者の「一人暮らしのオーダー」に沿って、家計プランを考えるワークでは、手取りを大幅に超えるプランを設定した当局職員が一番苦戦していました。



講師：中留上席

【講義内容】

- 大学生の金融リテラシー
 - ・家計管理（月々の支出＝生活の質）
 - ・生活設計（夢や希望・実現への取組み、ライフイベント）
- 社会に出たら、どんな独身ライフを送りたい？～ひとり暮らし編～
- 一人暮らしにかかる費用
- 家計管理の必要性
 - ・収入と支出のバランスを整え管理（家計簿アプリ）
 - ・「自分にとって大切なことは何か」を主体的に考え収入の範囲でメリハリのある支出を実行
- ライフプランを立てよう
 - ・ライフプラン＝充実した人生を送るために作成する「生活設計プラン」
 - ・ライフイベント表＋キャッシュフロー表＝ライフプラン表

【講義を終えての講師からの感想 ～中留上席～】

目の前の選択肢（進学する学校やらゼミやら就職先やら）を選ぶので精一杯の学生さんに家計管理、ライフプラン作成のワークをしてもらいました。「教養娯楽費減らしても、通信費は絶対に減らせない！」「先々きっと大変だから貯金はマスト」という女子大生に時代を感じつつ、お伝えしたかったのは「自分の何にお金をかけたいか」を自覚する大切さ。今時珍しく、車に乗りたい、という女子。学芸員になるための勉強をしたい、という女子。夢をかなえるためにお金が必要なら、支出にメリハリをつけましょう、と自分を棚に上げてお話ししてきました。作ったライフプラン表を見直ししながら、夢を自分のものにしてもらえたらうれしいですね。

～ 第6回 就職活動のための企業データ分析・整理方法 ～

最終回は、当局の公認会計士資格取得者の木嶋検査官による、就職活動のための企業分析方法についての講義でした。学生向けに分かり易い言葉で、企業情報を集める手段としての有価証券報告書の見方を丁寧に説明。実際、就職先を選ぶ目線で、ポイントを絞っての見方であり、初めて目にする学生にも分かり易いものでした。途中、学生には分からない箇所がないか優しく確認もしながら、突然の質問にもうまく対応してくれました。



講師：木嶋検査官



後半はパソコンを使って実際 EDINET で有価証券報告書の検索、確認する実習もあり、学生は真剣。見学に来られていた学長も画面をのぞき込み興味津々、「ぜひ全学生にこの講義を受けさせたい」とおっしゃっていました。



【講義内容】

- 企業情報を集める手段
 - ・企業のホームページ、新聞情報、専門誌、有価証券報告書
- 有価証券報告書（EDINET）の確認方法、注意点
- 確認ポイント
 - ・主な経営指標等の推移→ex.売上だけでなく利益(経常・営業)にも注目、どちらも増加している会社は経営状況が良い。安定して配当している会社は経営に余裕がある
 - ・生産、受注及び販売の状況→ex.主要な販売先に大手企業がいれば信用がある会社
 - 一方、1社に依存しすぎる会社もリスクあり
 - ・事業等のリスク→ex.将来性を予測する上で、どのような課題やリスクがあるか把握できる
 - ・主要な設備の状況→ex.支店や工場の場合から大まかな勤務地を把握できる
 - ・大株主の状況→ex.親会社が大手企業であれば、当面経営は安定 一方、出世が制限されたり、経営の自由度が低い可能性も
 - ・役員の状況→役員の女性比率が高いと、女性にとって勤務しやすい会社の可能性が高い

【講義を終えての講師からの感想 ～木嶋検査官～】

上場企業等が財務局に提出している「有価証券報告書」は、就活に向けた企業分析にも有用なツールだと思いますので、財務局業務のPRもかねて、これを利用して説明しました。また、「奈良県内」の就職支援ということなので、奈良県内の企業を事例に用いました。

積極的に質問してくれていた学生たちが1回生であるとわかり、自分が学生だった頃と違って、早い段階からの就職に対する意識の高さに驚きました。

当局では奈良県立大・吉備国際大など、学生と共同で行う取組が増えている中、今回、こうした学生の姿を直に感じる事ができてよかったです。



【企画を通してのちほめんの感想 ～一丸調査官～】

学生が自らの将来ビジョンに近づくために自分はどうすればいいのか、講師に積極的に質問する姿には改めて学生の意識の高さに大変驚かされました。またスクール形式では積極的な発言がみられなかった学生を見て、口の字型で変更したところ、徐々に発言するようになった学生の姿を見て、機転を利かしたその場での臨機応変に対応する企画運営の重要性を学びました。



一丸調査官

今回の地方創生企画を進めていくにあたっては試行錯誤の連続でしたが、奈良県立大学、奈良信用金庫さんからのご協力と、こちらの意向を汲み取っていただき講師として来て下さった皆様からの温かいご支援があったおかげです。学生からのアンケートからも、今回の企画は学生に楽しんでもらえ、少しでも有意義な時間になったようです。奈良県内の就業率向上という大きな課題に対して、我々が出来る小さなことでしたが、学生が今後、将来（就職）を考える際に少しでも良い影響を与える事が出来ていれば、幸いです。

T(チーム)ちほめんとして、地域の更なる課題解決に向けて少しでもサポートできるよう、引き続き頑張っていきたいと思います。

今回の企画でお世話になった方々、本当にありがとうございました。

株式会社呉竹 大島沙織 様

梅乃宿酒造株式会社 吉田佳代 様

スムージー専門店 DRINK DRANK 平野奈津 様

奈良県立大学 伊藤学長、増本特任准教授

奈良信用金庫 地域創生室 平山室長

奈良信用金庫 人事部 辻本シニアマネージャー、相田様

天理支店営業課 若井様



T(チーム)『JOB☆なび』平井、狩野、一丸、神谷、野村